年間授業計画 新様式例

高等学校 令和４年度（１学年用） 教科 人間と社会 科目 人間と社会

教 科： 人間と社会　　科 目： 人間と社会　　単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 東京都教育委員会著作 「人間と社会」 ）

教科 人間と社会 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】社会の一員であることを実感し、社会に役立つ意義と喜びを体験的に学ぶことを通して、道徳性を養い、価値観を高めることで、

【思考力、判断力、表現力等】規範意識や公共心の充実を図ると共に、思いやりの心をもち、他者との意見交換を通して、自ら考え行動て

【学びに向かう力、人間性等】自らの可能性や自己理解の深化を図り、自己肯定感や向上心を育む。

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	渋谷学 高校生として、地域、社会の一員であることを実感し、社会に役立つことの意義を学ぶ。	・指導事項 オリエンテーション、全体の流れについて ・教材 配布プリント	授業のねらいを明確に示し、学習の意義を考えさせる。 興味関心をもって意欲的に授業に参加しているか。			○	2
	渋谷学 高校生として、地域、社会の一員であることを実感し、社会に役立つことの意義を学ぶ。	・指導事項 SDGｓについて	授業のねらいを明確に示し、学習の意義を考えさせる。 興味関心をもって意欲的に授業に参加している。	○	○	○	3
	渋谷学 高校生として、地域、社会の一員であることを実感し、社会に役立つことの意義を学ぶ。	・指導事項 課題講演会 夏課題提示	授業のねらいを明確に示し、学習の意義を考えさせる。 興味関心をもって意欲的に授業に参加している。	○	○	○	2
2学期	ボランティア活動等 社会に役立つ喜びと意義を体験的に学ぶことを通して、道徳性を養い、価値観を高める。	・指導事項 体験活動（仮） 体験活動の振り返りまとめ（仮）	社会のマナーを学びつつ、実践内容を異義ある形にまとめることができる。	○	○	○	6
	社会に役立つ喜びと意義を体験的に学ぶことを通して、道徳性を養い、価値観を高める。	・指導事項 働くことの意義 作文の書き方 人間関係を築く ・教材 教科書	社会のマナーを学びつつ、実践内容を異義ある形にまとめることができる。 生徒同士の対話や協議を通じて解決への道筋を見出させる。	○	○	○	5
	防災訓練学習	・指導事項 事前・事後学習、発表、振り返り	各自が選択した活動に主体的に取り組ませる。 生徒同士の対話や協議を通じて解決への道筋を見出させる。	○	○	○	4
3学期	授業で学んだことや、体験したことを活かし、今後につなげる意義と方法を知る。 「人間と社会」の学習活動を通して、自分の可能性を知り、自ら考え行動する力を高める。	・指導事項 学習のまとめ	授業で学んだことや、体験したことを活かし、今後につなげる意義と方法を考えることができるか。	○	○	○	1
							合計 23